



イマジン
ロータリー

Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

IMAGINE ROTARY

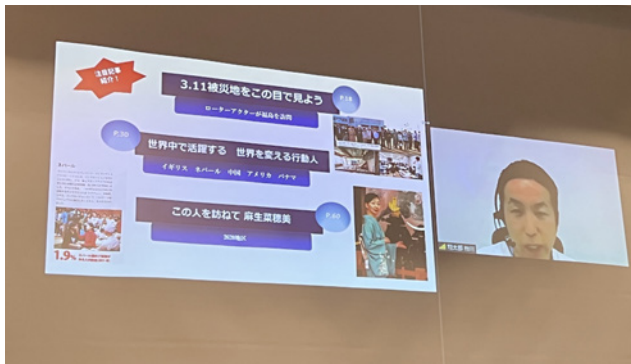
イマジン ロータリー

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

静岡ロータリークラブ ●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／望月 啓行 ●副会長／平尾 清 ●幹事／藤田 博久 ●副幹事／番匠 俊行

2022-2023 5月8日 ☁ 第3660回例会

ゲスト卓話「鈴与菊川バイオガスプラント概要説明」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
川辺 哲君

●ゲスト紹介●

静岡サレジオ高等学校

教頭 中村 さとみさん

教諭 山田邦彦さん 吉川牧人さん

●米山奨学生 奨学金贈呈●

東海大学 航海工学科 海洋機械工学
ソリマン・ゼアドさん

鈴与商事(株) 新規事業開発部長

土屋修一さん

● 会 長 挨 拶 ●

会長 望月啓行君

今日は環境保全委員会の担当例会ですので、「環境への取り組み」と「ロータリー」と「共通のビジョンを抱くパートナー」という話をしていきたいと思います。環境問題の歴史を見てみると、産業革命からの近代化によって起こったと言われます。こちらの表をご覧ください。日本では第二次世界大戦後の工業復興による大気汚染問題により水俣病他様々な健康被害が起こり、その後高度経済成長の時にさらに水質汚濁や自然破壊が深刻化、それらに対し様々な環境に関する法律が1971年くらいまでに整備されます。ここまでは「法律によって抑え込む」という傾向がありました。その後1972年にストックホルムの会議で国連環境計画が設立され、「環境問題は世界全体で取り組むべき」となっていました。それではロータリーは環境へどう取り組んできたか。「THE ROTARIAN」1971年5月号で環境問題特集号が組まれました。また翌年1972年のストックホルムの国連大会に2人のロータリアンが参加し、報告されました。その後1972-73年RI会長ヒックマンが「ロータリーは環境問題も取り組んでいくべき」と理事会に上程し可決。ここからロータリーの環境への取組みが大きなテーマになったということです。さて、私達静岡ロータリーの「環境保全」への取り組みをふり返ると、二つの事業があります。まず一つは駿府城公園の東南隅に当たる土手への「つつじ植樹」、昭和27年の1952年に当時の社会奉仕委員長が中

心になって、戦後の復興に努める市民に少しでも明るい希望を与えたいという願いで、つつじを植樹し会員で育てました。さらに昭和43年には他のエリアにも広げ、600本以上になりました。これは平成13年に市に維持管理を移管しました。70年前から環境保全に取り組んだという歴史は素晴らしいですね。もう一つは静岡県立美術館の横の場所に1984年に静岡県文化センターゾーン計画というのがありましたが、その時に静岡ロータリーが50周年ということで、「けやき植樹」を行いました。この時に予算は800万円、71本のけやきを植樹しました。これも40年ほど前の環境保全の取り組みです。これらを見ると静岡ロータリーは、昔から環境保全に取り組んだと言えます。今では「けあき例会」「つつじ例会」という形で、隔年で現地に見にいっています。その様な中で、環境への取り組みのキーワードは少しずつ変わってきました。「地球環境との共生」や「環境循環型社会」への取り組み、また近年よく出てくるワードで「ゼロミッション」「サーキュラーエコノミー」等経済と環境を両立させる、というものです。環境問題というのはただ抑えるのではなく「循環させる」「経済活動とも両立させる」「持続可能性」にキーワードが変わってきています。実はロータリーの環境問題への取り組みも、2020年に大きな変化がありました。当時は2019-20年マーク・マローニーRI会長でしたが、環境関連で2つの呼びかけがありました。一つは国連憲章調印75周年であり「国連とのより一層の協調」「SDGsに併せた活動を」とし、国連と目標を一緒にして歩んでい

こうということ。そしてロータリーの重点分野に「環境」をも加え、補助金活用を可能にし「環境への取り組み」に対して大きくフォーカスすることになりました。この2020年というのは「ロータリーの環境の取り組み」が一段レベルアップした年と言えるでしょう。さて、マローニーさんが75周年を迎えた国連との歩みをもう一度強化しようと呼びかけましたが「ロータリーと国連」の関連をここでみてみたいと思います。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、ロータリーと国連は「共通のビジョンを抱くパートナー」なのです。ここで動画を見ていただきたいと思います。(ロータリービデオ「共通のビジョンを抱いて」) このビデオでわかるように国連設立時にロータリーは重要な役割を担いました。設立時の理念にも影響を及ぼしましたし、1945年の国際連合設立準備会には7名の委員長と20名の代表がロータリアン。代議員を含めると合計49名のロータリアンが参画しました。また国連憲章起草時にも、RIから11名の顧問団が参画。まさに設立時からロータリーと国連は「共通のビジョンを抱くパートナー」であったと言えます。さて、環境への取り組みについては、時代と共にキーワードも大きく変化しました。そして、ロータリーの取り組みのレベルも変わり、重点分野の一つになりました。そのような中、私達はこれからどのようなロータリーらしい環境の奉仕活動をしていけばいいのでしょうか？ここで一つ素晴らしい事例を紹介させていただきます。2021年に茨城県2820地区の新井和雄ガバナー（当時）は、「地球環境保全グローバルプロジェ

クト」という取り組みをされました。これは9月12日「ロータリー奉仕デー」に、世界中で一緒に清掃をやろうと呼びかけた、大規模な環境保全プロジェクトです。これにはアメリカ、ネパール、ウクライナ他世界中から254団体32,857名の参加があったということです。また、世界30カ国の人にZOOM参加してもらい「それぞれの国にどんな環境問題があるのか」という、ディスカッションを行ったということです。ロータリーならではの国際ネットワークを使ったインパクトのある大きなプロジェクト。全世界の大勢の人の環境への意識を変える素晴らしい事業です。ロータリー財団は環境の分野で次の様な事業を推奨しています。・資源の保護と回復・天然資源の管理と保全・持続可能な一次産業の支援・気候変動原因への取組・生態系の強化・環境教育イニシアチブの支援・資源効率の高い経済提唱・公衆衛生上の懸念への取り組み等です。環境への取り組みは、「未来の世代に対する責任」とも言われます。これから「循環型」「持続可能性」であり、またロータリークラブだからできる新しい環境への取り組みを目指していきたいと思えます。これで本日の挨拶を終わります。ありがとうございました。



- 月●●日 小林和則さん
- 月●●日 平尾清さん
- 月●●日 市川聡康さん
- 月●●日 馬場洋文さん
- 月●●日 大須賀紳晃さん
- 月●●日 宮部理香さん
- 月●●日 川崎裕司さん
- 月●●日 神谷真太郎さん
- 月●●日 村山栄之さん

【結婚記念日】

- 月●●日 善正隆文さん・由美子さん
- 月●●日 荻野淳さん・奈央子さん
- 月●●日 寺戸常剛さん・美津子さん
- 月●●日 新庄剛和さん・静代さん
- 月●●日 三浦孝文さん・千秋さん
- 月●●日 山口雄司さん・理恵さん
- 月●●日 河村卓利さん・美也子さん
- 月●●日 久保田隆さん・智子さん
- 月●●日 杉本忠重さん・育代さん

●ス マ イ ル●

今回は時間の関係で次回に行います。

●出 席 報 告●

例会日	全会員数 (出席計算人数)	出 席 会 員 数	欠 席 会 員 数	暫 定 出 席 率
5/8	105(104)	60 名 (現地 59 名 Zoom 1 名)	44 名	58 %

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い場合は全会員出席扱いとします。

●ゲ ス ト 卓 話●

「鈴与菊川バイオガスプラント概要説明」

鈴与商事(株) 新規事業開発部長

土屋修一さん



鈴与菊川バイオガスプラント

は、鈴与グループのエスエスケイフーズ(株)からの食品残渣、農業生産法人ベルファーム(株)から排出されるトマト残渣、給食で出た調理クズや食べ残しのゴミなどから、微生物

を使い、ガスを発生させ（メタン発酵）、そのガスを使って電気を作っています。この時、発生するガスのことをバイオガスと言います。2016年に工場ができ、1日約6～7トンのゴミを処理しています。ガスを燃やした時に出る熱と排気ガスを、とりにあるビニールハウスのトマト畑で、暖房やトマトの成長に役立てています。この活動は、再生可能エネルギーに関する取り組みとして、地球温暖化を防ぐための仕事です。食品残渣の脂質が多いと、発酵を阻害してしまい、創業以来2度の工場停止など、苦労もありました。その後、研究を重ね、現在のより安定的なメタン発酵技術を確立してきました。

環境保全委員会 委員長 塩原太一郎君



ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています。今後も、地元企業の脱炭

素化の取り組みを学んだり、高校や大学などの教育機関とコラボし環境問題を共に学んだり、課題解決に貢献していきたいと思います。

● 鈴与菊川ガスプラント見学会 ●

例会終了後、30名以上のメンバーが鈴与菊川ガスプラントの見学に行きました。バスの中で、メンバーである鈴与商事㈱の加藤正博さんよりご挨拶があり、2班に分かれ、プラント内の説明を聞きながら見学させていただきました。

